

平成21年10月1日
(2009)
第101号
毎月発行
編集
公民館だより編集室
発行
西東京市公民館

西東京市 公民館だより

田無公民館 南町5-6-11 TEL 461-1170	柳沢公民館 柳沢1-15-1 TEL 464-8211
芝久保公民館 芝久保町5-4-48 TEL 461-9825	ひばりが丘公民館 ひばりが丘2-3-4 TEL 424-3011
谷戸公民館 谷戸町1-17-2 TEL 421-3855	保谷駅前公民館 東町3-14-30 TEL 421-1125

公民館ロビーに季節感と潤いを提供

市民活動「おりがみの集い」かみふうせん

田無公民館のロビーの一隅に、折り紙作品が飾られているのを「存知ですか。これは市内のミニデイ事業「かみふうせん」のメンバーの共同作品です。ひな人形、鯉のぼり、夏の海、紅葉と季節に合わせ、ロビーを利用して人々の目を惹きつけています。

市では、高齢者が健やかに過ごすための余暇活動を支援する「いきいきミニデイ事業」を制度化しています。

「かみふうせん」の中島多子さんが事業認定を受けたのは平成17年のこと。月2回定期的な活動を下宿地区会館で始めました。「かみふうせん」は先人から伝わる伝承折り紙を、みんなで楽しむことを通じて、高齢者の孤立防止、地域参加を目的としています。現在登録者数は20人を超えています。

また若くミニデイ事業の参加資格がない島田さんは、「月1回初心者ではあるけれど、先生の助手として仲間に入れていただいています」と話していました。



公民館に彩りが

平成17年の田無公民館まつり(当時は「サークル見学会」)に参加したことがきっかけとなり、公民館と共催でクリスマス時期に「ロビーを折り紙で飾ろう」という催しを企画し、出来上がった折り紙をロビーに飾りました。殺風景だったロビーが華やかなり、大きな反響を呼んだ。この催しは、今では「おりがみの集い」と名前を変えて、毎年クリスマスの時期だけでなく、七夕やひな祭りの時期にも開催するようになりました。

活動の場を広げて

「公民館のロビーで活動することによって、新しい人に門戸を開いた、開放的な活動となりました」と語る中島さん。

メンバーは、ロビーでの展示や講習会の他、サークルとの交流活動にも積極的です。双子を持つお母さんのサークル「ふたごぶらぐだ」に招かれて、折り紙を教えたり、子どもたちの遊び相手をすることもあります。

地域に立ち話ができる場を

「ロビーは、公民館を利用する人の交差点であり、地域の人の交流の場でもある」と中島さんは語ります。

「集合住宅が増えたことで、知り合いと話をするのにも、玄関のドアの中に入って話すようになりまして。でも、ちょっと家から出たところで話ができる場が、街の中にいろいろあつていいと思います」

次回の折り紙の集いは11月下旬です。

クリスマスカラーに染まった田無公民館のロビーに是非お立ち寄りください。気軽に話ができる憩いの場が、そこにきっとあります。

連絡先 中島 462・7910



日常の活動風景

サークル訪問

西東京 KIDS CHOIR (キッズウワイア)

ドアを開けると3歳位から小学低学年のかわいい盛りの子どもたちが先生の英語での挨拶に「アイ・フライン・センキュー・エディキュウ」と元気に挨拶を交わしているところでした。「西東京キッズウワイア」は昨年8月から実施された田無公民館主催講座『英語で歌おうキッズウワイア』の参加者により発足したサークルです。木曜日(月2回)の夕方4時から5時30分まで12人のメンバーで練習しています。



講師の入江真奈先生は子どもたちと一緒に遊びまわるように楽しく指導します。自然と心が弾み踊りだしたくなるような雰囲気です。

レッスンでは子どもたちが「歌うこともあり」「マイクを向けられると緊張するよ」と、あるかちゃん。姉妹で参加しているこのことで「家でも練習しているの?」と聞くと「一回だけおねえちゃんとお家で歌ったんだよ。上手だねって褒められたの」と嬉しそうに話してくれました。

「発表の場がたくさんあるので積極的に自己アピールができるようになった」と話してくれたのは自身もボイストレーニングをしていたという、しのんちゃんのお母さん。



昨年12月の所沢ミュージックホールで初舞台、今年5月の田無公民館まつりにも参加しました。今は11月の所沢での合同コンサートに向けて練習中。

連絡先 清水 464・4385



短冊に願いを込めて

「かみふうせん」の中島多子さんが事業認定を受けたのは平成17年のこと。月2回定期的な活動を下宿地区会館で始めました。「かみふうせん」は先人から伝わる伝承折り紙を、みんなで楽しむことを通じて、高齢者の孤立防止、地域参加を目的としています。現在登録者数は20人を超えています。

「ロビーは、公民館を利用する人の交差点であり、地域の人の交流の場でもある」と中島さんは語ります。

「集合住宅が増えたことで、知り合いと話をするのにも、玄関のドアの中に入って話すようになりまして。でも、ちょっと家から出たところで話ができる場が、街の中にいろいろあつていいと思います」

「発表の場がたくさんあるので積極的に自己アピールができるようになった」と話してくれたのは自身もボイストレーニングをしていたという、しのんちゃんのお母さん。

昨年12月の所沢ミュージックホールで初舞台、今年5月の田無公民館まつりにも参加しました。今は11月の所沢での合同コンサートに向けて練習中。

連絡先 清水 464・4385